

平成28年4月25日
公益社団法人砂防学会

平成28年熊本地震に係る土砂災害第一次緊急調査団報告会

公益社団法人砂防学会では、平成28年熊本地震発生翌日の15日から17日の間、先遣調査を行った結果、大規模な斜面崩壊や地すべりが発生し、人的被害が発生していると判断し、石川会長を団長とする緊急調査団13名(別紙)を4月22～24日の間、現地に派遣した。

緊急調査であり、限られた資料と期間ということから、緊急的な課題である今後の強い余震や梅雨期等の降雨による土砂災害の発生の危険性や救助活動での二次災害の危険性を中心に調査を行った。

今回の調査成果について、次の通り報告会を開催します。多くの方のご参加を御願い致します。

1. 日時： 平成28年4月27日(水) 14時から
2. 会場： 砂防会館別館3階会議室「霧島」
東京都千代田区平河町2-7-4
3. プログラム
 - (1) 開会
 - (2) 石川団長からの報告(20分)
 - (3) 各班からの補足報告(20分)
 - (4) 質疑応答(50分)
 - (5) まとめ
 - (6) 閉会
4. 定員： 80名程度(定員を超えた時点で会場に入れない場合があります)
5. 参加費： 無料
6. その他
会場受付で、参加者名簿にご記帳いただくか、御名刺をいただくことにしています。ご協力をお願い致します。

また、今後も今回の災害を教訓にした地震による土砂災害危険箇所の選定手法と対策手法の開発に関する調査を含め(表-1「今後の課題」参照)、今後数次にわたって現地調査を行う予定です。

問合せ先は次の通り

【東京】

公益社団法人砂防学会

事務局長： 杉浦信男 Tel 03 - 3222-0747

住所：千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館3階

URL:<http://www.jsece.or.jp/indexj.html>

E-mail:sabou@js5.so-net.ne.jp

●表-1 今後の課題

1. 緊急的課題

- (1) 大規模な土砂災害発生個所の今後の危険性の把握（人命、人家、公共施設等に対する危険性、拡大の危険性の把握）
- (2) 二次災害軽減のために必要な緊急対応

2. 短期的課題

- (1) 既存施設の効果の強化
- (2) 今後の必要な調査・研究と対策方法の検討

3. 中長期的課題

- (1) 地震による土砂災害危険区域図の作成手法の開発
- (2) 火山地域における地震による土砂災害危険図の公表
- (3) その他の地域における地震による土砂災害危険図の公表
- (4) これらを進めるための研究体制の強化

別紙

平成 28 年熊本地震に関する砂防学会第一次緊急調査団の編成

- 団長（総括） 石川 芳治 会長（東京農工大学大学院教授）
 - ・ 団長付 桂 真也 会員（北海道大学大学院助教）

- 第 1 班（大規模斜面崩壊）
 - ・ 班長兼副団長 下田 義文 副会長（八千代エンジニアリング（株）相談役）
 - ・ 副班長 地頭菌 隆 九州支部副支部長（鹿児島大学教授）
 - ・ 班員 藤澤 康弘 会員（（一財）砂防・地すべり技術センター
総合防災部主任技師）

- 第 2 班（阿蘇東部及びカルデラ内）
 - ・ 班長 海堀 正博 専務理事（広島大学大学院教授）
 - ・ 副班長 古賀 省三 九州支部副支部長（日本工営（株）福岡支店理事）
 - ・ 班員 寺田 秀樹 元理事（国土防災技術（株）副社長）
相楽 渉 会員（（一財）砂防・地すべり技術センター
斜面保全部課長代理）

- 第 3 班（西原村から宇土半島）
 - ・ 班長 藤田 正治 総務部長（京都大学防災研究所教授）
 - ・ 副班長 清水 収 九州支部副支部長（宮崎大学教授）
 - ・ 班員 山下伸太郎 理事（（株）建設技術研究所砂防部長）
加藤 誠章 会員（（一財）砂防・地すべり技術センター
砂防部課長代理）